

香港 — 主要な金融センター

香港はアジアの主要金融ハブであり、中国随一の国際金融センターです。その確固たる法制度、低率でシンプルな税制、高度な金融インフラ、金融機関や金融専門人材の大きなプレゼンスにより、世界で最も自由な経済である香港は、金融業界の多くの部門で主導的な地位を占めています。



香港はアジアの主要金融センターであり、中国随一の国際金融センター。

IPO 資金調達プラットフォーム

香港は、アジアで2番目に大きな新規株式公開（IPO）資金調達センターです。2017年のIPO資金調達額は、約165億米ドルでした。香港の高い流動性と資本調達のための幅広い選択肢は、日本企業のさまざまな金融ニーズを満たすことができます。

株式市場

香港株式市場の規模はアジア第3位で、その時価総額は4兆2,200億米ドルです。2018年7月末時点で、日本企業9社が香港証券取引所に上場しています。



香港株式市場の規模はアジア第3位。

銀行

香港では200以上の銀行が営業しており、これには世界の大手銀行100行のうち75行が含まれます。香港では日本の銀行14行が事業を営んでおり、14行が駐在員事務所を置いています。

保険

香港にはアジアで最も多くの保険会社が集まっており、その数は直近の調べで160社に達しています。うち2社は日本で法人化された会社で、4社は日系資本の会社です。これら6社で、香港における一般保険市場の保険料総額の5%を占めています。

資産管理

香港はアジア No.1 の資産管理センターであり、2017 年末時点でその資金運用ビジネスは総額 3.1 兆米ドルに上ります。世界の主要な資金運用会社 100 社のうち 70 社が、香港で営業しています。



銀行業務の一大ハブ・香港では、世界の大手銀行100行のうち75行が営業。

革新的企業が上場しやすいプラットフォーム

香港は有望なスタートアップ企業を優遇し、そうした企業が資金調達をしやすい仕組みを提供しています。中でも、バイオテクノロジー企業は研究を製品化するのに長い時間と多大な費用がかかるため、資金面での課題に直面します。香港証券取引所は、このような有望企業が立ち上がり、事業を営むことができるよう、収益を上げる前のバイオテクノロジー企業、および加重投票権構造企業のメインボード上場を認めました。この新しい上場制度は、香港での二次上場を検討する株式発行者に道を開くものでもあります。

対中投資のポータル

香港は中国本土の経済成長を活用する上で、先行者利益を享受しています。

香港・中国本土間での債権および株式の相互取引制度、ファンドの相互承認制度により、香港は国際投資家と中国本土の投資家を互いの市場へとつなぐユニークな双方向の扉となっています。

香港はまた、世界最大のオフショア人民元センターであり、そのオフショア人民元資金プールは世界最大です。日本の投資家は香港で人民元建て貿易決済や、その他の人民元関連の金融取引を行うことができ、これは日本の中国本土との貿易の円滑化にもつながっています。

これまでに、日本の銀行および企業 6 社が香港で人民元建て債券を発行しています。2018 年 5 月末時点で香港の人民元決済プラットフォームに参加している 13 行は、日本の銀行ならびに日本に進出している中国の銀行の支店や子会社でした。また、オリックスや日立キャピタルといった日本の金融機関および企業も、香港で人民元建て債券を発行しています。

日本企業は、金融センター・香港ならではこうした利点をぜひ活用してください。